

「アイスクリームのはなしをよんで」

一年生

むかしのひとがアイスクリームをつくるのはとってもたいへんだったんだとおもいました。
にほんでアイスがうられたのが、おばあちゃんがうまれるよりもっとまえだったことにびっくりしました。
ぼくはバニラあじのアイスがすき。
チョコよりもバニラのあまさがすき。
本をよんで、アイスクリームをつくってみました。
とてもたいへんでした。
なんかいもまぜるのがつかれました。でもたのしかったですし、おいしかったです。
むかしのひとはたいへんだし、つかれるだろうなどおもいました。



「ねがいごとのあかいふねをよんで」

一年生

【子】
かばのこは、あかいふねがほしくておがわにいつてねがいことをしたら、めのまえに、あかいふねがながれてきました。だけどよくみたら、きつねこんすけとなまえがかいていました。あかいふねが、きにいつたからいちにちじゅうきのふねであそびました。だけどよるに、きつねこんすけつていくなまえがきになって、あかいふねをきつねこんすけくんに、かえすことにしました。

【親】
私がこのお話を読んで一番印象強く感じたことは、かばのお母さんがかばの子の気持ちを最優先に考えていたところだ。赤いふねに「きつねこんすけ」という名前が書いてあるのを見つけた時に、私ならきつねすぐに「これは、他の子の物だからすぐに返そう。」と、かばの子に言うていたと思います。
かばの子が、この舟の持ち主の気持ちを考え、自らきつねこんすけに返そうと言ってくることを見守っているところが、簡単なようで難しいことだなおもいました。きちんと相手の気持ちを考えたかばの子も、それができると信じて見守ったかばのお母さんも、どちらも素敵な親子だなと感じました。



「あいすくりいむのはなしをよんで」

一年生

まず、ひょうしをみて、おうじさまとおひめさまがおどっていて、すてきだとおもいました。それからほんをよみはじめると、くいずがあつたので、たのしくてどんどんよんでいきました。しゃべつとや、そふとくりーむのことをきようだいといっているのがかわいいとおもいました。

わたしのおばあちゃんも、むかしは、なつしかたべられんかったといっていたのをおもいました。

ほんには、やつとすきなときにたべられるようになったとかいてあつたけど、わたしは、おかねがないといけないから、すきなときはすりいむもよるこんでくれるのかな。あいすくりいむにもいのちがあるんだね。こんど、あいすくりいむをたべるときに、このおはなしをおとうとおしえてあげようとおもいます。そして、なかよくいっしょにたべたいです。



「アイスクリームのはなし」

一年生

親 どころがへえとおもった？
子 やまからこおりをはこぶところだよ。
親 あなただつたら、やままで、とりにいけるかな？
子 とりにいきたいけどたいへんだからいやだな。
親 そうだね。たいへんだけれど、はこべたらおいしいものがある？
子 わたしはマラソンがしたいな。だつてたいへんだけれど、はしると、げんきになれるからだよ。
親 そっか。たいへんだけれど、できたらいいことがまっているね。ベンスキようも、うんどうもしているときは、たいへんだけれど、できるよ
子 うになると、いいことがまっているね。
だからやったほうがいいんだね。



「アイスクリームのはなし」を読んで

一年生

「アイスクリームのはなし」を読んで

一年生

【子】

わたしは、「アイスクリームのはなし」というほんをよみました。むかしは、とおくてたかい山までこおりをとりについて、れいぞうこもなくてたいへんだなとおもいました。

わたしは、シャーベットが大好きです。にほんでも、アイスクリームをたべられるようになってよかったです。

【親】

「アイスクリームのはなし」という本を読みました。

イタリアのおひめさまが、アイスクリームのきょうだいのシャーベットが大好きで、その技術をフランスへ伝える役割をしたことでアイスクリームができたことが分かりました。

イタリアのジェラードが有名なのもシャーベットを発明した国だったからなのだと納得しました。

我が子もアイスクリームやかき氷が大好きですが、昔の人の知恵や努力、新しいものを発明していく力があつたからこそ、今のアイスクリームがあるのだと思うと私たちも新しいことにチャレンジしたり、考えたりする力を親子共々つけていく必要があると思いました。



親 子 親 子 親 子 親

あなたのが大好きなアイスクリームのはなしだったね。読んでみてどう思ったかな？

びっくりした事がたくさんあった。どんなところがびっくりした？

むかしは冷蔵庫もなくて、特別な人しかアイスクリームが食べられなかったことがビックリしたよ。

そうだよ。昔の人たちが冷たいものを食べられるように工夫してくれたり、冷蔵庫を発明してくれたから、今いつでもアイスクリームが食べられるんだよね。

ママが小さいとき、お姉ちゃんによくケンカしてたけど、大好きなアイスクリームを食べるときは仲良く半分こして食べた思い出があるよ。

そうなの？じゃ、この本に描いているように『へいわなせかい』になったんだね。

本当だね。甘いものを食べるとケンカした事なんてすっかり忘れて仲良しになれたよ。あなたもおねえちゃんやお友達とケンカした時は一緒にアイスクリームを食べて楽しい気持ちになろうね!!

